

前の特選才金と厚給をばさんかたど御尋耳耳記の卒と財金はんかたどの馬鹿
 書を去る十八日に出した處が會社は他の同一事業の會社に比較して増收を得
 て居り一割三分の配當と一割七分の臨時配當をして居りながらも僅かの財界
 の不況を楯にして吾等の嘆願のみならず交通事業と云ふ立場を無視し冷笑の
 目を以てハネ飛ばしてしまつたそして其の反面には依然として我利を本旨と
 なす線路の延長と建築に孜孜として居る

試みに郊外各線の電車と比較し現業員の待遇を調る時に明らかに電車が劣悪
 であり待遇の虐待であることが左の比較表によつて判明するのである吾等は
 吾等の心だけに止めて置くことは出来ない是非共皆様の御批判に訴へて一片
 の御同情と御援助を希ふものであります

京王電車

初任給	一圓六十錢
四等	一圓六十五錢
三等	一圓七十錢
二等	一圓八十錢
一等	一圓九十錢
特等	二圓二十錢

電車ハボギー車

王子電車

初任給	一圓二十錢
四等	一圓三十錢
三等	一圓三十五錢
二等	一圓四十錢
一等	一圓六十錢
特等	一圓八十錢

電車ハ單車及ボギー車若干

親愛なる諸氏へ

日本交通労働總聯盟
 東京市電自治會
 王子支部

大正十四年十二月

東京
 社會
 東京、大阪、神奈川、愛知、兵庫、
 福岡、各府縣知事、
 東京地方裁判所、検事、正、教